

岩手県金融経済概況（2020年9月）

1. 概況

県内経済は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。公共投資は、趨勢的には減少傾向にあるものの、足もとは増加している。住宅投資は、減少している。設備投資は弱めの動きとなっている。

生産は、一部に持ち直しの動きがみられている。

労働需給は、弱めの動きとなっている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

百貨店売上高（全店舗ベース；2020年8月）は、11ヵ月連続で前年を下回った（前年比△13.9%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2020年8月）は、8ヵ月連続で前年を上回った（前年比+0.8%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2020年9月）は、12ヵ月連続で前年を下回った（前年比△13.7%）。

この間、サービス消費での新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、厳しい状態にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2020年9月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+12.0%）。

新設住宅着工戸数（2020年8月）は、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比△15.6%）。

—— 持家（前年比+21.3%）は4ヵ月振りに前年を上回った。貸家（同+28.2%）は9ヵ月振りに前年を上回った。分譲（同△82.5%）は2ヵ月振りに前年を下回った。

民間設備投資（2020年9月短観ベース；2020年度計画）は、前年を下回る計画（前年比△12.7%）となっている。

—— 製造業は、新型コロナウイルス感染症の影響による収益悪化を背景として不要不急の投資を先送りする先がみられたことなどから、前年を下回る計画（前年比△3.2%）となっている。非製造業は、前年の大口案件の反動減等から前年を下回る計画（同△24.3%）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2020年8月）は、14ヵ月連続で前年を下回った（前年比△15.2%）。

3. 生産動向

生産は、一部に持ち直しの動きがみられている。

鉱工業生産指数（季節調整値；2020年7月）は、2ヵ月振りに前月を下回った（前月比△1.0%）。

—— 主要業種別にみると、輸送機械、食料品、鉄鋼が上昇した一方、生産用機械、化学、はん用機械が低下した。

なお、四半期の動きをみると、2020/4～6月は2期連続で前期を下回った（2019/7～9月：前期比+1.9%、10～12月：同+2.1%、2020/1～3月：同△5.9%、4～6月：同△10.7%）。

4. 雇用・所得動向

労働需給は、弱めの動きとなっている。

有効求人倍率（季節調整値；2020年8月）は、0.99倍と前月を下回った（1.00倍を下回ったのは、2013年4月の0.99倍以来）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2020年8月）は、8ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.4%）。

雇用者所得（県内合計値；2020年7月）は、常用雇用指数（前年比+0.6%）

が前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△4.5%）が前年を下回ったことから、2ヵ月振りに前年を下回った（同△3.9%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2020年8月）は、食料（外食等）、被服及び履物、住居などが上昇した一方、諸雑費、光熱・水道、教養娯楽などが下落したことから、2ヵ月連続して前年を下回った（前年比△0.6%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2020年9月）は、2件、1,288百万円（前年同月；4件、503百万円）と前年に比べて件数は減少したが、金額は増加した。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2020年8月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2020年8月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

